

策定を求めました。学校の新・改築で使われる建材や塗料、日常的に使われているフックスやフェルトペーン、洗剤、樹木への農薬散布など多種多量の極微量の化学物質に反応し

て苦しむ化学物質過敏症の子どもたちが増えていますが、そういった子どもたちが健康に過ごせる環境は、すべての子どもたちにとっても安全な環境であると訴えました。

### すべて投げだして辞める無責任

— 6月の市長選 —

子どもたちへのツケは大きくなった

「将来世代への負担先送り」と言われるが、これを数字的に表わす



のに「現在世代負担と将来世代負担の比較」という手法がある。現在私たちが使っている公共の施設や道路など「社会的な資産」を作ったのは誰のお金か、をみる手法だ。これまでの世代が負担した税金で賄われた「現在世代の負担比率」は、鶴岡氏が市長になった平成13年は54・6%。一方将来の世代の負担によって賄わなければならない「将来世代の負担比率」は52・8%だった。ほんの少しだが、現在の負担で事業をする割合の方が大きかった。しかし鶴岡氏の在任中にその割合は逆転した（現在

世代負担比率・44・0%、将来世代負担比率・57・5%）。私たちは、子どもたちにツケをまわして今の資源を使っているのである。

### 緊急事態に必要な

### 財政調整基金もカラッポ!

この間、市民ネットワークでは何度も「財政危機宣言を出し、財政再建を」と求めてきたが、それに答えることなく、借金を重ねながら突っ走ったのがこの結果。ここに至り市債発行を急ブレーキで抑えようとしたが、その急ブレーキ計画は失速。20年度の市税収入は、現在の大不況の影響を受け落ち込むことが明らかで、こんなため、基金を積んでおくべきなのだが、それがほとんどカラッポ。仕方なく当初の計画を上回る市債を発行する、との発言。場当たり的な対応は、税金を扱う能力がなかった証。

## 県議会報告

県議会議員 大野ひろみ

### どうなる？ 知事選

今年3月29日に知事選挙がある。自民党県議の西尾憲一氏は党を離脱して出馬表明。背水の陣か？ はたまた別の思惑か？

年末には民主党千葉県連が、県教育委員の白石真澄氏を推薦決定。しかしこの方、元々自民党色が極めて強く、かの安倍政権のときの教育再生会議の委員を勤め、学校に競争原理を導入するよう主張していた。

12月末に民主と政策協定を結んだが、翌日自民党を訪れて推薦を依頼したと報じられた。公明党は元々熱烈な白石コール。どう見ても三党相乗りになるかと思いきや、民主党内部からブーイング続出。その後民主党の推薦はとうとう取り消しとなった。この通信が出る頃には、また新たな展開があるかもしれない。

前回堂本知事に6000票差まで迫った森田健作氏もやる気満々。堂本知事も出馬前向きだが、3期目の体力に懸念が残る。

市民ネットワークとしては、再び「金権千葉」に時計の針を戻さず、開かれた県政を実現できる候補を必死で模索中だが、以前のような「無党派の風」は果たして吹くのか？ 目が離せない知事選の行方である。

### あと始末ができる人へ話したい

鶴岡氏は次期市長選不出馬とのこと。もちろん私たちも鶴岡氏に再建をお願いしようとは思わない。現在編成中の21年度予算は、220億円を上回る収支不足が見込まれている。この状態から抜け出すために、どこに無駄があるのか、どこに職員を配置すればいいのか、どこに税金を投入すべきなのかを見抜き、果敢に実行する首長が必要だ。誰に私たちの税金を託すのか、私たちの判断も問われている。

(市議会議員・湯浅美和子)

### 自転車クイズ



リタイヤされた方も増え、坂道のほとんどない美浜区では自転車は環境にも優しく、コストのかからない乗り物です。しかし、車や歩行者との事故や、駅前などの放置・盗難など自転車をめぐる問題も増えています。意外と知られていないのが自転車の法規・ルール。そこでクイズです。次の記述が正しいかどうか○×で答えてください。

### (問題)

①自転車通行可の標識のある道を自転車で通行する場合は、歩行者ではなく自転車優先である。

②特に道路標識で指定されていない場合は、自転車と並進(並んで走る)して